

椰子の実

本調子

1/2

前奏

中 尺 ○ 尺 中 上 四 中 上 工 合 ○ 上

○ 四 ○ ○ ○ ○ 合 四 中 上 ○ 合
な
↓

○ ○ 合 上 尺 中 ○ 尺 上 合 四 ○ 上
と
お
き
し
まよ
り
な
が

中 尺 ○ 中 四 合 ○ 四 中 上 上 四
れ
よ
る
や
し
の
み
ひ
と
っ

○ 工 ○ 王 上 四 中 工 中 四 ○ 中
ふ
る
さ
と
の
き
し
を
は
な

四 上 ○ 中 尺 ○ 尺 上 四 中 上 工
れ
て
な
れ
は
そ
も
な
み
に
い

合 ○ 上 ○ 四 ○ ○ ○ ○ 工 ○ 王 中
く
っ
き
三番の後四へ
間奏
↑

上 四 中 工 中 四 ○ 中 四 上 ○ 中

尺 ○ 尺 中 上 四 中 上 工 合 ○ 上 ○

四 ○ ○ ○ 四 四 四 ○ 四 乙 四 尺 中
四
○
お
も
いや
る
や
え

工 四 中 四 上 ○ 合 合 ○ 合 四 上
の
し
お
じ
お
い
ず
れの
ひ

中 四 工 ○ ○ ○ 中 尺 中 上 中 合
に
か
く
に
に
か
え

椰子の実

本調子

2/2

ら

○

上

○

四

ん

○

○

○

○

前奏へ

一、名も知らぬ

遠き島より

流れ寄る

椰子の実一つ

故郷の岸を

離れて

汝（なれ）はそも

波に幾月（いくつき）

二、旧（もと）の木は

生いや茂れる

枝はなお

影をやなせる

我もまた

渚（なぎさを）枕

孤身（ひとりみ）の

浮寝（うきね）の旅ぞ

間奏

三、実をとりて

胸にあつれば

新（あらた）なり

流離（りゆうり）の憂（うれい）

海の日

沈むを見れば

激（たぎ）り落つ

異郷の涙

四、思いやる

八重の汐々（しおじお）

いづれの日にか

国に帰らん